

展示作品

作家名	作品タイトル	制作年	高さ	幅	奥行
アイザワ リエ	鴝	2025	370×	400×	260 mm
	六花	2025	470×	370×	330 mm
	層青	2025	500×	700×	600 mm
	曜々	2025	450×	560×	380 mm
	累	2025	250×	360×	380 mm
今井 真眞	Orycto	2025	280×	220×	160 mm
	ナポレオンフィッシュ	2025	500×	1040×	300 mm
	玉釉―海亀	2024	386×	415×	595 mm
	鰐	2019	350×	340×	700 mm
	和邇	2020	300×	340×	750 mm
	伊勢海老 蛸	2020	540×	300×	310 mm
	大山椒魚	2021	288×	510×	760 mm
	大山椒魚	2023	270×	300×	920 mm
	ルリコンゴウインコ	2023	760×	260×	280 mm
	虎	2020	400×	520×	540 mm
小林 佐和子	灰被志野獅子	2022	685×	380×	850 mm
	面置物十二支招き猫	2025	485×	530×	530 mm
	天狐日食図	2025	510×	500×	330 mm
	おかげ参り	2025	450×	340×	240 mm
	水差 兎亀再戦	2025	300×	270×	300 mm
	大虎四神相応可杯	2025	295×	360×	360 mm
	ふじにゃん	2025	255×	365×	365 mm
	麒麟児たち	2025	230×	370×	230 mm
	くじ引き縁起根付	2025	340×	310×	310 mm
	練込茶碗 龍虎獅子舞	2025	80×	130×	130 mm
	茶碗 羽兎の散歩	2025	100×	157×	145 mm
	彩層茶碗 犬出の小槌	2025	82×	125×	125 mm
	練込陶箱 赤みみずく	2025	180×	220×	155 mm
	練上茶碗 鳥あわせ	2025	85×	120×	120 mm
	練込茶碗 山伏	2025	82×	127×	140 mm
	茶碗 羽獅子の散歩	2025	125×	135×	153 mm
	片口 しゃくねこ	2025	135×	110×	100 mm
	可杯 泉猫	2025	88×	95×	90 mm
	もっきり 子犬に昇り竜	2025	105×	77×	77 mm
	ぐい呑 羽うさぎ	2025	65×	91×	85 mm
後藤 秀樹	ぐい呑 鬼の子	2025	98×	85×	85 mm
	ぐい呑 子犬獅子舞	2025	84×	85×	85 mm
	海神	2025	470×	730×	730 mm
	海神	2025	360×	590×	480 mm
	海神	2025	370×	560×	310 mm
	海神	2025	340×	490×	290 mm
	海神	2025	500×	320×	320 mm
	海神	2025	370×	450×	360 mm
	海神	2025	400×	300×	270 mm
	海神	2024	230×	330×	230 mm

作家名	作品タイトル	制作年	高さ	幅	奥行
奈良 祐希	Bone Flower_Jomon	2025	350×	300×	300 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	330×	280×	270 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	325×	280×	260 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	320×	260×	260 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	320×	260×	260 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	320×	260×	260 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	320×	260×	260 mm
	Bone Flower_Jomon	2025	320×	260×	260 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	350×	260×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	350×	230×	230 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	350×	220×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	350×	220×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	330×	220×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	330×	220×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	330×	220×	220 mm
	Bone Flower_Yayoi	2025	330×	220×	220 mm
	Bone Flower_Nest	2025	240×	430×	430 mm
山浦 陽介	白尖Ⅱ white edge Ⅱ	2025	2300×	390×	390 mm
	白鎧Ⅰ white spear Ⅰ	2024	2600×	210×	210 mm
	白塔Ⅰ white tower Ⅰ	2018	1100×	250×	250 mm
	白塔Ⅲ white tower Ⅲ	2018	1100×	250×	250 mm
	白尖／white edge 150×150	2020	177×	180×	150 mm
	銀尖／silver edge 150×150	2020	177×	180×	150 mm

*会場での展示内容が異なる場合があります。



●●●●●
paramitamuseum

公益財団法人岡田文化財団パラミタミュージアム
〒510-1245 三重県三重郡菟野町大羽根園松ヶ枝町21-6
Tel.059-391-1088 Fax.059-391-1077
https://www.paramitamuseum.com
E-mail=office@paramitamuseum.com

第19回 パラミタ
陶芸大賞展

恒例となったパラミタ陶芸大賞展も、
本年19回目を迎え、来館者による投票という大賞選考方法もすっかり定着しました。今回も、全国の美術館、博物館、画廊、美術評論家の方々から、「時代を代表する陶芸家」を推薦いただき、上位6名の作家をノミネートして、パラミタミュージアムの会場に作品を展示します。
賞の選考は5月31日から34日間の展示期間中、来館者に投票していただき、その結果により大賞を決定します。
多数の皆様のご投票をお待ちしております。

展示期間 | 2025.5.31土～7.21月祝
投票期間 | 2025.5.31土～7.3木

*大賞作家にご投票いただいた方には、パラミタミュージアムより記念品をさしあげます。

パラミタ陶芸大賞発表式 2025年7月13日 日 14:00
パラミタ陶芸大賞1名 賞金100万円

paramita
Ceramic Art Grand Prize Exhibition
museum

アイザワ リエ

〈制作コメント〉

自然の中から自分の形を探しています。
色と時を積み重ね、作品から見えてくる景色から私の理想郷を追いかめています。



陶歴

1994年 沼津市(静岡県)に生まれる
2017年 大阪芸術大学工芸学科陶芸コース卒業
第51回女流陶芸展 新人賞

2018年 茨城県立笠間陶芸大学校研究科卒業
2019年 第25回日本陶芸展 文部科学大臣賞
個展(ギャラリー数寄／愛知)(同'22)
2021年 第8回陶美展 共栄電気炉製作所賞
2023年 「やきものの現在 土から成るかたち―partXIX」(ギャラリーヴォイス／岐阜)
「美の予感2023―生彩―」(日本橋高島屋／東京、他)
個展(シルバースェル／東京)(同'24)

2024年 「Reframing, vol.2」(YODギャラリー／大阪)
第13回国際陶磁器展美濃 銅賞

現在 茨城県笠間市在住

小林 佐和子 (こばやし・さわこ)

〈制作コメント〉

神様や精霊や伝承の存在などの目に見えないもの、それでも心の中に確かにあるものを見える形で表現したいと思っています。それは人の心の支えになり時に励ましをくれるものです。

初めて小動物を触った日、地球や宇宙との繋がりを実感しました。

生き物から受け取った美しくて活気あふれるエネルギーを陶芸の中に落とし込み、見てくれる皆様にお返しすることが出来たらいいなと思います。



photo: 木和田権子

陶歴

1984年 藤沢市(神奈川県)に生まれる
2003年 神奈川県立湘南高等学校卒業
2009年 東京藝術大学美術学部工芸科陶芸専攻卒業
2011年 東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了
2013年 個展(瑞玉ギャラリー／東京)(同'16 '19)
2014年 東京藝術大学大学院美術研究科博士後課程修了
茅ヶ崎市にアトリエを作る

個展(日本橋三越本店／東京)(同'17 '20 '23)
2015年 個展(銀座黒田陶苑／東京)(同'18 '21 '24)
2018年 ART FAIR TOKYO 銀座黒田陶苑ブースより出品(同'21 '24)
個展(Paragon Japan International Art Gallery／神奈川)

現在 神奈川県茅ヶ崎市在住

今井 完眞 (いまい・さだまさ)

〈制作コメント〉

陶芸家の家に生まれ、幼い頃から粘土に親しんできました。器ではない表現に可能性を感じ、現在は生き物を主なモチーフに制作しています。釉薬の質感や焼成の偶然性が命のかたちと響き合い、命なき陶に生命のうごめきを宿すことを目指しています。その試みは、「無生に生命を宿す」という、日本文化に見られる美意識とも響き合うものだと感じています。



photo: 堀出恒夫

陶歴

1989年 京都市(京都府)に生まれる
2011年 京都花鳥館賞奨学金2011 最優秀賞
2012年 京都商工会議所インターンシップ交流事業京都代表として派遣
2013年 東京藝術大学工芸科卒業
2015年 第63回東京藝術大学卒業・修了作品展 三菱地所賞(東京藝術大学大学美術館)
東京藝術大学大学院美術研究科陶芸専攻修了
2016年 「第6回中、日、韓有名芸術家招待展」(上海芸術礼品博物館／中国)
2017年 「三越美術110周年 HOPES 次世代百選展」(日本橋三越本店／東京)
2018年 「ソクツとするリアリズム ソウムシVSシーラカンズ」(茨城県陶芸美術館)
2019年 日本陶芸展 招待作家 出品
2021年 Kyoto Art for Tomorrow 2021 一京都府新鋭選抜展―NHK京都放送局賞(京都文化博物館)

2023年 「ポケモン×工芸展―美とわざの大発見―」(国立工芸館／他、巡回)

現在 京都府京都市在住

奈良 祐希 (なら・ゆうき)

〈制作コメント〉

英国、ウィルトシャー州にあるストーンヘンジを訪れた。自己顕示欲を持つ巨石が形の異なる隣り合う仲間たちと共振し、共鳴し、そして共創していく。それはまるで環状に設計された劇場で時空を超えたオーケストラを観ているようだった。建築は凍れる音楽と呼ばれる。それは空間に満ちた共鳴のひとつひとつを抽出して凍結させて形―空間を与えるからだ。私たちはいつ頃から形を静止したものとして分析的に観るようになったのだろう。



陶歴

1989年 石川県に生まれる
2013年 東京藝術大学美術学部建築科卒業
2016年 多治見市陶磁器意匠研究所修了
2017年 東京藝術大学大学院美術研究科建築専攻首席卒業
第3回金沢世界工芸トリエンナーレ 審査員特別賞
2020年 個展「Hybridizing」(Akio Nagasawa Gallery／東京)
2021年 一級建築士事務所EARTHEN設立
個展「JAPANDI-NA」(Nicolai Bergmann Flowers & Design Flagship Store／東京)
2022年 「コレクション展 1 うつわ」(金沢21世紀美術館／石川)
個展「ENSEMBLE」(佳水園／京都)
個展「Exposition Nara Yuki」(OGATA Paris／フランス)

2023年 個展「samādhi」(禪坊 靖寧／兵庫県淡路島)
2024年 個展「祈器」(麻布台ヒルズギャラリー／東京)
第13回国際陶磁器展美濃 審査員特別賞

現在 石川県金沢市在住

後藤 秀樹 (ごとう・ひでき)

〈制作コメント〉

鉄はもぐさを溶かし深部へと
石は余分を溶かし尽くして喰らいつき
作品に纏います。
炎が素材を結びつけ
炎が私と作品を繋げてくれます。



photo: 野村知也

陶歴

1973年 多賀城市(宮城県)に生まれる
1997年 岐阜県立多治見工業高等学校専攻科卒業
2012年 第19回美濃陶芸庄六賞茶碗展 奨励賞
2014年 第10回国際陶磁器展美濃 入選(同'21)
2015年 個展(ロバート・イエリンやきものギャラリー／京都)
2016年 「現代志野の新動向 いましの展」(多治見市美濃焼ミュージアム／岐阜)
2017年 「現代の茶陶」(茨城県陶芸美術館)
「志野・しの・SHINO展」(ギャラリーヴォイス／岐阜)
2019年 個展「床の間を離れて。」(美濃加茂市民ミュージアム／岐阜)
2023年 個展「海神」(日本橋三越本店／東京)
2024年 個展「後藤秀樹陶展」(ギャラリー数寄／愛知)
個展「海神」(ぎやらいい栗本／新潟)
個展「後藤秀樹陶展」(ジェイアール名古屋タカシマヤ／愛知)
とうしん美濃陶芸作品永年保存事業選定(とうしん美濃陶芸美術館／岐阜)

現在 岐阜県多治見市在住

山浦 陽介 (やまうら・ようすけ)

〈制作コメント〉

磁器の大型作品をいかに展開させるかを元に制作しています。
その中で私が拠所になっている形のイメージは元来、人の尺度を遥かに超えた時間の中で土自体が生成される過程で辿った、記憶の一部なのではと感じるようになりました。

その事が土という素材のイメージの起点となり、自身の1方向の直線的なイメージが、左右2方向に放射するイメージの展開に結び着きました。作品を通して白磁の造形が持つエネルギーを感じて頂ければ幸いです。



陶歴

1982年 南越前市(福井県)に生まれる
2008年 静岡文化芸術大学デザイン学部生産造形学科卒業
2010年 多治見市陶磁器意匠研究所卒業
2011年 第9回国際陶磁器展美濃 入選(同'17)
2019年 第4回金沢・世界工芸コンペティション 入選
2020年 個展「一空白と超刻―」(ギャラリー数寄／愛知)
online Gallery B-OWND参加('23 B-OWND Gallery参加)
2021年 第12回国際陶磁器展美濃 坂崎重雄セラミックス賞
2022年 「ホモ・ファールベルの断片―人とのづくりの未来―」(愛知県陶磁美術館)
2023年 個展「つんざくかたち―」(ギャラリー数寄／愛知)
Blanc de China International Ceramic Art Award 入選(Winland center／中国)
2024年 「『土・メッセージ MINO』IN 東京'24：伝承される陶芸の最先端」(東急プラザ表参道／東京)
「やきもの最前線 国際陶磁器展美濃受賞者の現在」(ギャラリーヴォイス／岐阜)

現在 岐阜県土岐市在住